成長期に於ける肺結核患者の皮膚色調

Skin Colour of the Pulmonary Tuberculous Patients in Growing Period

日本醫科大學解剖學教室 (主任 金子正之助教授)

研究生 鈴木 木 潔
Suzuki, Kiyoshi

目 次

第 I 章 緒 言
第 II 章 被検者・測定方法及び測定部位
第 III 章 測定成績
第 1 節 色調の出現状態
第 2 節 基礎色
第 3 節 主(色)調
第 4 節 平均基礎色
第 5 節 色調の分析各含有量
第 1 項 純色含有量
第 2 項 白含有量
第 3 項 黒含有量
第 IV 章 総括並びに結論
主要文献

この論文の要旨は第 56 回日本解剖學會總會 (1951) で發表す。

第 I 章 緒 言

皮膚色調の有する意義は、人類學・醫學・體質學その他に於て極めて大で、健康者についてはもちろん病的色調についても深く闡明されなければならない。肺結核患者の皮膚色調についてはさきに、糸永喬¹⁰⁾の興味ある報告があるがこれは主として青年期或いは成熟期以後の成人結核についてであつて、いわゆる成長期の特有な皮膚色調の變遷推移や、この時期に於ける肺結核の成人肺結核に對する経過の相違等より考えるとき、成長期結核患者の皮膚色調を精細に探究することは、他の理學的或いは臨床的檢索とともに廣義醫學上極要缺くべからざるや論を俟たない。しかるに従來いわゆる成長期の如き弱年者の肺結核患者については、ほとんど見る

べき報告がない。著者は金子教授指導のもとにさきに健康者の成長期に於ける皮膚色調につき調査報告¹¹⁾したが、これと關連して同時期の結核患者の皮膚色調を調査し、その變遷推移を比較考察しいさゝか興味ある成績を得たので、こゝに報告し諸賢の御批判を乞う次第である。

第 II 章 被検者・測定方法及び測定部位

被検者は、東京都内各療養所 (國立東京療養所・國立中野療養所・國立清瀬療養所) 神奈川県國立神奈川療養所・横浜市立二橋學園等の生後 2 年より滿 25 年にいたるいわゆる成長期に於ける肺結核患者男女合計 822 名である。計測には金子皮膚比色計を用い、頬・額・胸骨部・上腕内側・下唇(紅唇)の 5 カ所について行い、可及的計測上の誤差を少なくするよう努めた。なお患者の病症 a により、輕症・中等症・重症の 3 群に分けている。

第 III 章 測 定 成 績

身體 6 カ所の測定成績については、頬に於ける所見を詳細に、額以下の成績については簡単に述べることとする。得た結果を成長期各人生期別病症別に分類し、これをさらにそれぞれ 1. 色調の出現状態 2. 基礎色 3. 主色調 4. 平均基礎色 5. 色調の分析各含有量の 5 方面より考察することとする。

第 1 節 色調の出現状態

成長期結核患者頬部色調は、第 1~3 表に示す如くで、男では 486 人中相異なる 243 色が出現し、これを病症別にみると輕症 (第 1 表) では相異なる 86 色・中等症 (第 2 表) では 100 色・

a) 病症の分類法は米國療養所協會春期會合 (ワシントン, 1922) で決定された肺結核分類法にしたがう。

第 1 表 輕 症 患 者 頬 皮 膚 色 調

人生期	男女別及びその主調 (括弧内は測定人員)	色 調 の 出 現 範 圍 (註: 3.5hd(id)・1-3.7gdhd・1は3.5hd(id)1例, 3.7gdhd1例の意)
乳前 齒期	♂ 4.25 hdie (100%) (1名)	4.25 hdie・1
乳齒 後期	♂ 4.1 hd (14.3%) (7) 4.3 gd (14.3%)	3.5hd(id)・1-3.7gdhd・1-4.1hd・1-4.15gd(gchd)・1-4.27gchd ・1-4.3gd・1-4.4fcgc・1
	♀ 4.1 fcgc(16.7%) (6) 4.24 gcgd(16.7%)	4.1fcgc・1-4.18fcgc・1-4.24gcgd・1-4.26gchd・1-4.3gchd・1- 4.35fcgd・1
學 齡 前 期	♂ 4.25 gd (3.8%) (26) 4.5 hd (7.7%)	3.5gc・1-3.6gchd・1-3.85id(ie)・1-4.0hd・1-4.1[fc・1-fcgd・1- gchd・1-gd・1]-4.15[gd・1-fcgc・1]-4.18gchd・1-4.2[fcgd・1- gdhd・1]-4.23gd・1-4.25[fc・1-gcfc・1-gd・1]-4.3[fcgd・1-hdgc・ 1]-4.4gd(fc)・1-4.5[fc・1-gchd・1-hd・2]-4.6gchd・1
	♀ 4.1 gchd (5.3%) (19) 4.25 gchd (5.3%)	3.75fcgc・1-3.8[gcfc・1-gd・1]-3.9fc・1-4.1[fcgc・1-gchd・1- gd・1]-4.18fcgd・1-4.2[fc・1-fcgc・1-gcfc・1]-4.21fc・1-4.25 gchd・1-4.26gdfc・1-4.3[fc・1-gchd・1]-4.7gchd・1-4.8[gc(fc)・ 1-gchd・1]
學 齡 後 期	♂ 3.7 gchd (6.3%) (32) 4.1 gchd (9.4%)	3.5fcgc・1-3.6gchd・2-3.7[fc・1-fc(gcgd)・1-gchd・2]-3.7(3.8) gd(gc)・1-3.8(gchd・1-gd(gchd)・1)-3.9[fc・1-gchd・1]-4.0 [gchd・1-gd・1-hdid・1]-4.05gchd・1-4.1[fcgd・1-gchd・3-gd・ 1-gd(fc)・1-hd・1]-4.1(4.15)fc(gc)・1-4.18gd・1-4.2[gcfc・1- gchd・1]-4.25[gc・1-hdgc・1]-4.28gchd・1-4.4gchd・1-4.5gchd・ 1
	♀ 4.1 gchd (23.1%) (13) 4.2 gchd (7.7%)	3.7gchd・1-4.0fc・1-4.1gchd・3-4.15gd・1-4.18fcgc・1-4.2gchd・ 1-4.28[fc・1-gdgc・1-hd・1]-4.3fcgd・1-4.4gd・1
移行 前期	♂ 4.0 gchd (12.5%) (8) 4.15 gd (12.5%)	3.8hd・1-4.0gchd・1-4.05hd・1-4.1fcgc・1-4.15gd・1-4.18gdhd・ 1-4.3fcgc・1-4.8gchd・1
	♀ 4.3 gd (12.5%) (8) 4.4 hd (25.0%)	4.15gdgc・1-4.25[gd・1-gd(fc)・1]-4.27hd・1-4.3gd・1-4.4hd・ 2-5.0gchd・1
移行 後期	♂ 4.1 gd (100%) (1)	4.1gd・1
	♀ 4.2 gd (20.0%) (5)	4.2gd・1-4.28gdfc・1-4.6gchd・1-4.7gcfc・1-4.8gchd・1
青 年 期	♂ 4.0 hd (10.0%) (20) 4.5 hd (10.0%)	3.75gdfc・1-3.8gchd・1-3.875hd・1-4.0[hd・2-hdie・1]-4.25[gd・ 1-hd・1]-4.275hd・1-4.375hd・1-4.5[fcgc・1-gd・1-hd・2]-4.625 fc・1-4.75[fc・1-gd・2-hd・1]-5.0gd・1
	♀ 4.75 hd (25.0%) (8) 4.875hd (25.0%)	4.25hd・1-4.3fcgd・1-4.375hd・1-4.625hd・1-4.75hd・2-4.875 hd・2

第一成熟期	♂ 4.25 hd (12.0%) (25)4.5 hd (12.0%)	3.75[gd・1-hdie・1]-4.0[hd・1-hdie・1]-4.1gd・1-4.15gd・1-4.2gdhd・1-4.25[gd・1-gdfc・1-hd・3-hdie・1]-4.3hd・1-4.35hd・1-4.375[fc・1-gd・1]-4.4hd・1-4.5[fc・1-gd・1-hd・3]-4.625fc・1-4.75hd・1
	♀ 4.5 fc (15.0%) (20)4.5 gd (10.0%)	4.2gd・1-4.25fc・1-4.275gd・1-4.25(4.3)gd・1-4.3[gd(fc)・1-hd・1]-4.45gd・1-4.5[fc・3-gd・2-hd・1]-4.55gd・1-4.75gd・1-5.0[fc・1-gd・2-hd・2]

第2表 中等症患者頬皮膚色調

人生期	男女別及び其の主調	色調の出現範囲
乳前齒期	♀ (2)4.5 gd (50.0%)	4.5[gd・1-hdid・1]
乳齒後期	♂ 4.1 gchd (16.7%) (6)4.625fc (16.7%)	4.0(3.9)gchd・1-4.1gchd・1-4.5[fc・1-hdid・1]-4.625[fc・1-gd・1]
	♀ 3.5 gd (20.0%) (9)4.625gc (20.0%)	3.5gd・2-3.85gd・1-4.05gchd・1-4.15fc・1-4.2gd・1-4.6fcgc・1-4.625gc・2
學齡前期	♂ 4.2 gd (9.1%) (11)4.625gd (9.1%)	4.0hd・1-4.1[gcgd・1-gchd・1]-4.18gd・1-4.2gd・1-4.3gc(fc)・1-4.4gchd・1-4.5[fc・1-gc(hd)・1]-4.6gcgd・1-4.625gd・1
	♀ 4.375 fc (7.7%) (13)4.5 fc (7.7%)	3.6gd・1-3.7(3.65)gdfc・1-3.7gchd・1-4.0hdgc・1-4.1fcgc・1-4.15[gcgd・1-gchd・1]-4.375fc・1-4.4fcec・1-4.45fc・1-4.5fc・1-4.7[gchd・1-hd・1]
學齡後期	♂ 4.2 fcgc (7.7%) (13)4.2 gdhd (7.7%)	3.5gc(fc)・1-3.85[gchd・1-hd・1]-3.9gdhd・1-4.0gchd・1-4.1[fcgc・1-hd(id)・1]-4.15[fcgd・1-gc(gd)・1]-4.2[fcgc・1-gdhd・1]-4.625fc・1-4.75fc・1
	♀ 4.2 gcgd (14.3%) (7)4.3 fc (14.3%)	3.5gchd・1-4.0hdid・1-4.2gcgd・1-4.3[fc・1-fcec・1]-4.75gdhd・1-5.0gc・1
移行前期	♂ 4.25 fc (14.3%) (7)4.5 fc (14.3%)	3.25hd・1-3.6hd・1-4.15gchd・1-4.25fc・1-4.35hdgc・1-4.5[fc・1-hd・1]
	♀ 4.25 hd (6.3%) (16)4.4 gd (12.5%)	3.85gcgd・1-4.05fc・1-4.15[gd・1-hd・1]-4.16gd(fc)・1-4.25hd・1-4.26gd・1-4.27gd・1-4.28gd・1-4.3[gc(fc)・1-gcfc・1]-4.4gd・2-4.75fc・1-4.8gc・1
移行後期	♂ 4.3 fc (7.1%) (14)4.5 gd (7.1%)	3.9gdhd・1-4.15gd・1-4.25gc・1-4.27gc・1-4.28gd・1-4.3[fc・1-fcec・1]-4.5[fc(gc)・1-gd・1-gdfc・1]-4.625gd・1-4.7gcgd・1-5.0gc・1
	♀ 4.4 fc (17.6%) (17)4.75 fc (11.8%)	4.1gchd・1-4.125fcgd・1-4.15gd・1-4.25[fc・1-fcec・1]-4.275hd・1-4.28fcec・1-4.3gd・1-4.35gcgd・1-4.4[fc・3-gd・1]-4.5gd・1-4.75fc・2-5.0hd・1

青 年 期	♂ 4.25 gd (9.7%) (93)4.5 gd (10.8%)	3.5(3.25)gd・1-3.5hd・1-3.75(gd・1-hd・1)-3.875hd・1-4.0(gdhd・1-hd・2-hdie・1)-4.1(gd(fc)・1-hd・1)-4.-gd・3]-4.2(gd・2-gdhd・1-hd・1-hd(ie)・1)-4.25(fc・gc・2-gd・9-gdfc・1-hd・5-hd(ie)・1-hdie・3)-4.3(fc・1(fc)・1)-4.375(gd・1-hd・2)-4.4(gd・1-gdfc・1-gdhd・1-4-fcgd・1-gc・1-gchd・1-gd・10-gdfc・2-hd・4)-4.625(fc・2-gdfc・1)-4.75(fc・2-gd・5-hd・1)-5.0gd・2
	♀ 4.75 fc (8.1%) (62)5.0 gd (6.5%)	3.75gd・1-4.0gdfc・1-4.1(fcgd・1-gd・2)-4.125gd・1-4.25(fc・3-fcgd・2-gd・1)-4.275hd・1-4.3(fc・2-fcgd・1)-4.325hd・1-4.35gd・1-4.375(fc・2-fcgc・1-fcgd・1-gd・1)-4.4fcgd・1-4.5(fc・2-gc・1-gd・3-gdfc・2-gdhd・1-hd・2-4.6(fc・1-hd・2)-4.625(gc・1-hd・1)-4.75(fc・5-gd・3-5.0(fcgd・1-gd・4)-5.5fc・2
第 一 成 熟 期	♂ 4.25 gd (7.3%) (110)4.5 hd (7.3%)	3.5(3.4)hd・1-3.75(gd・1-hd・1-hdie・1)-3.8gdhd・1-4.2-hd・4-hdie・1)-3.95(gd・2-hd・1)-4.0(fcgd・1-gd・4-4.05hd・1-4.1(gd・4-gdhd・1-hd・2-hdie・1)-4.15(gd・ie・1)-4.2(gd・5-gdfc・4-hd・7-hdgd・2)-4.225gd・1-4.3-gdhd・1-hd・2-hdgd・1)-4.275gdfc・1-4.3(gd・3-gdfc・1-4.35gd・3-4.375(fc・1-hd・1)-4.4gd・1-4.5(fcgd・1-gd・hdgd・1-hdie・1)-4.55gd・1-4.625(fc・1-gd・3) 4.75(fc・6-hd・4)
	♀ 4.2 hd (5.6%) (54)5.0 fc (9.3%)	3.25gd・1-3.875gd・2-4.0fcgd・1-4.1gd・1-4.2hd・3-4.4.3(fc・1-fcgd・1-gd・4)-4.35gd・1-4.4(fcgd・2-gd・3-4.5(fc・2-fcgd・1-gd・2-gdfc・1-hd・3)-4.55(fc・3-gd・2-3-gdfc・1)-4.625gd・1-4.65gdhd・1-4.75(fc・1-gd・1)-1-5.0fc・5-5.25(fc・1-fcgd・1)-5.5(fc・1-hd・1)

第3表 重症患者頬皮膚色調

人生期	男女別及びその主調	色 調 の 出 現 範 圍
乳前 齒期	♂ (2) 4.25 gc (50.0%)	4.25(fcgc・1-gc・1)
乳後 齒期	♀ (3) 4.75 gc (33.3%)	4.75gc・1-4.875gc・1-5.0fcgd・1
	♂ 4.25 gc (25.0%)	

移行前期	♂ 4.15 gchd (20.0%) (5) 4.27 gc (20.0%)	3.25gd・1-3.5fcgd・1-4.15gchd・1-4.18gd・1-4.27gc・1
	♀ 4.25 hd (40.0%) (5) 4.4 gc (20.0%)	4.25hd・2-4.3gdhd・1-4.4gc・1-4.6gcfgd・1
移行後期	♂ 4.2 gd (22.2%) (9) 4.26 gd (11.1%)	4.0gd・1-4.1hd・1-4.17gd・1-4.2gd・2-4.22gdhd・1-4.26gd・1-4.275gdfc・1-5.0fc・1
	♀ 4.3 gd (13.3%) (15) 5.0 fcec (20.0%)	3.5gd(gcfc)・1-4.2fc・1-gchd・1-4.26hd(gc)・1-4.3(gd・2-gdgc・1)-4.4gd・1-4.5(gd・1-hd(ie)・1)-4.75fc・1-4.875fc・1-5.0fcec・3
青年期	♂ 4.2 hd (7.4%) (27) 4.25 hd (7.4%)	3.5hd・1-3.625hdie・1-3.75(gd・1-gdhd・1)-3.875gd・1-4.0gd・2-4.1(fcgd・1-hd・1)-4.15gdfc・1-4.2(gd・1-hd・2)-4.25(hd・2-hdie・2)-4.275hd・1-4.25(4.3)(fc・1-gd・1)-4.35(fc・1-gd・1)-4.4gd・2-4.6fcgd・1-4.625hd・1-4.875gd・1
	♀ 4.3 hd (10.5%) (19) 5.0 gd (10.5%)	3.75fcec・1-4.1gdfc・1-4.2(fcec・1-fcgd・1)-4.3hd・2-4.4(fc・1-gd・1)-4.5(gc・1-gd・1)-4.6gd(fc)・1-4.625gd・1-4.75hdie・1-5.0gd・2-5.125fc・1-5.25(fc・1-gd・1)-5.5fcgd・1
第一成熟期	♂ 4.2 gd (9.5%) (63) 4.5 hd (8.0%)	3.375(gd・1-hd・1-hd(ie)・1)-3.5(3.4)gd・1-3.5(fc・1-fcgd・1-gd・5-hd・1)-3.6(gd・1-hd・1)-3.7hd・1-3.75(fcgd・1-gd・2)-3.875(fcgd・1-gd・1-gdgc・1-hd・1)-4.0(gd・3-hd・1)-4.1(gd・1-gdhd・1-hd・1)-4.15gd・1-4.2(gd・6-gdgc・1-hdie・2)-4.24gd・2-4.25(gd・2-hd・1)-4.3(hd・3-hd(ie)・1)-4.325gdfc・1-4.4(fc・1-gdgc・1)-4.5(gdhd・1-hd・5)-4.625hd・2-4.75gd・2-4.875fc・2
	♀ 4.4 gd (11.1%) (27) 4.6 hd (11.1%)	3.5(gd・3-gdgc・1-hd・2)-3.75(fc・2-gd(hd)・1)-3.875fc・1-4.0gd・1-4.1hd・1-4.3(ecfc・1-gd・1)-4.375hd・1-4.4gd・3-4.5(gd・1-gdgc・1-hd・2)-4.6hd・3-4.7fcgd・1-5.25fc・1

重症(第3表)では 57 色が現われ、また人生期別による色調数を求めると軽症では乳齒期 8 色・學齡期 40 色・移行期 8 色・青年期 15 色・第一成熟期 15 色で、中等症では乳齒期 5 色・學齡期 21 色・移行期 18 色・青年期 29 色・第一成熟期 27 色で、重症では乳齒期 2 色・學齡期 4 色・移行期 11 色・青年期 15 色・第一成熟期 25 色であつて、これを要するに成長期各期を通じ軽症よりも中等症の方が多数の色調が出現し、また中等症より重症となると色調の出現状態は減じてくる。

女では 336 名中相異なる 199 色が出現し、これを病症別にみると軽症(第1表)では相異なる

56 色、中等症(第2表)では 90 色、重症(第3表)では 53 色が現われ、また人生期別による色調数を求めると軽症では乳齒期 4 色・學齡期 26 色・移行期 10 色・青年期 4 色・第1成熟期 12 色で中等症では乳齒期 9 色・學齡期 19 色・移行期 21 色・青年期 21 色・第一成熟期 20 色で、重症では乳齒期 2 色・學齡期 8 色・移行期 14 色・青年期 14 色・第一成熟期 15 色であつて、成長期を通じて男の場合と同様に中等症に於て色調出現状態が最も多い。次に結核症にしばしば見られるいわゆる頬部潮紅 sog. Wangenrötung について調べる。すなわち各人生期健常者のほとんど大部分に見えるそれぞれの

基礎色乳齒前期 4.25, 乳齒後期, 學齡前期 4.2 學齡後期以後 4.25 を基準としてこれ以上を呈するものを頬部潮紅を有するものとしてその出現者数及び出現率をみると, 822 名中 507 名 (61.7%)・男 486 名中 259 名 (53.9%)・女 336 名中 248 名 (73.8%) である。これを病症別にみると, 男では輕症 45.8%, 中等症 62.2%, 重症 41.1%, 女では輕症 67.1%, 中等症 78.3%, 重症 70.1% にいわゆる頬部潮紅を認める。すなわち頬部潮紅は中等症に最も多く, 次で輕症, 更に重症に最も少なくみられる。男女間では女の方に多くみられ, また以上の傾向は各人生期を通じ共通に認められる。

第 2 節 基 礎 色

成長期に於ける結核患者の皮膚色調の基礎色の出現範囲を各人生期ごとにかつ病症別にみると, 頬部については次の如くである。すなわち乳齒期には輕症群では男 3.5~4.4・女 4.1~4.35, 中等症群では男 4.0 (3.9)~4.625・女 3.5~4.625, 重症群では男 4.25・女 4.75~5.0 である。學齡期には輕症群では男 3.5~4.6・女 3.7~4.8, 中等症群では男 3.5~5.0・女 3.5~5.0 で, 重症群では男 3.6~5.0・女 4.1~4.5 である。移行期では輕症群男 3.8~4.8・女 4.15~5.0 で中等症群男 3.25~5.0・女 3.85~5.0, 重症群では男 3.25~5.0・女 3.5~5.0 である。さらに青年期では輕症群男 3.75~5.0・女 4.25~4.875, 中等症群では男 3.5 (3.25)~5.0・女 3.75~5.5, 重症群では男 3.5~4.875・女 3.75~5.5 である。第一成熟期では輕症群男 3.75~4.75・女 4.2~5.0, 中等症群では男 3.5 (3.4)~4.75・女 3.25~5.5, 重症群では男 3.375~4.875・女 3.5~5.25 である。

以上よりして一般に成長期には現われる基礎色の中が廣いが, 結核患者も同様に成人結核に比して基礎色の中が廣く, 輕症では餘り著しくないが中等症ではやゝ廣く高くなり, 重症になるにつれて基礎色の中が狭く低くなつてゆく。また女の方が男よりも概ね現われる基礎色が高く巾も廣くなっている。

第 3 節 主 (色) 調

成長期各期の人生期別頬部の主調及び出現率を第 1~3 表に, 額・胸骨部・上腕内側・下唇の主色調を第 4 表に示す。すなわち頬部については, 輕症者の主調は男女とも大體健康者のそれに類似し, 中等症・重症と次第に相違を示している。男女ともに基礎色は中等症に於て最も高く, 輕症, 重症の順位になつて下り, 重症の基礎色は低い。

第 4 節 平 均 基 礎 色

成長期各期の結核患者身體各部の平均基礎色を第 5 表に示し, さらにこれを第 1 圖に曲線を以て示す。すなわち頬 (第 1 圖 (イ)) についてみると測定数の關係もあるが, 健康者の曲線に比べて變化が著しく, 病症別にみると輕症はそ

第 1 圖 (イ) 頬の平均基礎色の推移

(ロ) 額の平均基礎色の推移

(ハ) 胸骨部の平均基礎色の推移

(ニ) 上腕内側の平均基礎色の推移

(ホ) 下唇の平均基礎色の推移

第4表 (イ) 各人生期別による額の主調

人生期	性別	病 症		輕 症		中 等 症		重 症	
		主 調	%	主 調	%	主 調	%	主 調	%
乳 歯 前 期	♂	3.5 hdid	100.0	—	—	3.5 gc	50.0	3.5 fcgc	50.0
	♀	—	—	3.75 gd	50.0	—	—	—	—
乳 歯 後 期	♂	3.5 hd 4.0 gd	14.3 14.3	4.25 fc 4.25 gd	16.7 16.7	—	—	—	—
	♀	4.0 gd 4.1 gchd	14.3 28.6	4.2 fcgc 4.25 fcgc	20.0 20.0	4.0 fc 4.0 gd	33.3 33.3	—	—
學 齡 前 期	♂	3.5 hd 3.9 gd	7.4 11.1	4.0 gd 4.1 hd	27.3 9.1	3.75 gd 4.25 fc	25.0 25.0	—	—
	♀	3.75 fcgc 4.1 fc	10.5 10.5	4.0 gchd 4.1 fc	15.4 7.7	3.6 gchd 4.25 gc	25.0 25.0	—	—
學 齡 後 期	♂	3.475 gchd 3.8 gchd	16.6 10.0	3.475 gchd 4.0 gd	15.4 7.7	3.45 gchd 3.49 gchd	50.0 50.0	—	—
	♀	3.7 gchd 4.1 gd	15.4 15.4	4.2 fc 4.25 gdhd	14.3 14.3	4.0 gd 4.1 gchd	25.0 25.0	—	—
移 行 前 期	♂	3.775 hd 3.8 gd	12.5 12.5	4.0 hd 4.2 hd	14.3 14.3	3.5 gd 4.0 gd	20.0 20.0	—	—
	♀	4.2(gc)hd 4.3 hd	12.5 25.0	4.1 gd 4.2 gd	12.5 18.8	3.45 gd 4.2 gd	40.0 20.0	—	—
移 行 後 期	♂	4.1 gd	100.0	4.2 fc 4.2 gd	14.3 14.3	4.05 gd 4.25 gd	22.2 11.1	—	—
	♀	4.0 gd 4.1 gd	20.0 20.0	4.15 gd 4.25 gd	12.5 12.5	4.2 gd 4.75 fc	14.3 22.4	—	—
青 年 期	♂	4.25 hd 4.5 gd	14.3 14.3	4.25 gd 4.375 gd	17.8 6.8	4.1 gd 4.25 hdie	7.7 7.7	—	—
	♀	4.25 gd 4.25 hd	18.2 9.1	4.0 gd 4.25 fc	12.8 8.5	4.1 gd 4.25 gd	10.0 20.0	—	—
第 一 成 熟 期	♂	4.15 gd 4.25 hd	12.1 15.1	3.875 gd 4.2 gd	9.1 8.2	4.2 gd 4.2 gdfe	9.7 6.5	—	—
	♀	4.2 gd 4.25 gd	11.5 7.5	4.25 gd 4.5 fc	8.2 9.8	4.2 gd 4.25 fc	7.1 10.7	—	—

R₁ (註…人生期中 M¹—乳歯前期、M²—乳歯後期、S₁—學齡前期、S₂—學齡後期、U₁—移行前期、U₂—移行後期、J—青年期、
第一成熟期を現わす。)

(ロ) 各人生期別による胸骨部の主調

人生期	主調 性別	病症		輕 症		中 等 症		重 症	
		主調	%	主 調	%	主 調	%	主 調	%
乳齒前期	♂	3.5 hd	100.0	—	—	3.5 fc	50.0	—	—
	♀	3.5 gc 3.5 gd	50.0 50.0	3.5 gd	50.0	—	—	—	—
乳齒後期	♂	3.5 hd 3.6 gchd	28.6 14.3	3.5 gc 3.5(3.55) gcgd	16.7 16.7	—	—	—	—
	♀	3.5 gd 3.6 gcgd	16.7 16.7	3.4 gd 3.7 fc	20.0 20.0	3.75 fc	66.7	—	—
學齡前期	♂	3.5 fcgc 3.5 gchd	11.5 19.2	3.55 fc 3.75 gd	9.1 9.1	3.5 fcgd 3.75 gd	25.0 25.0	—	—
	♀	3.5 fcgc 3.55 fc	21.1 15.8	3.5 gc 3.75 gd	15.4 15.4	3.5 gd 3.55 fc	25.0 25.0	—	—
學齡後期	♂	3.5 fcgc 3.5 gchd	30.3 24.2	3.5 gchd 3.55 fc	23.1 7.7	3.5 gcfc	50.0	—	—
	♀	3.55 fc 3.6 gd	15.4 7.7	3.5 gdhd 3.55 fc	28.6 14.3	3.55 fc	50.0	—	—
移行前期	♂	3.6 fc(ec) 3.6 gchd	25.0 12.5	3.6 hd 3.75 gd	16.7 16.7	3.5 fc 3.5 gd	20.0 20.0	—	—
	♀	3.55 gd 3.6 fc	25.0 12.5	3.55 fc 3.55 gd	6.3 18.8	3.6gd(hd) 3.65 fc	25.0 25.0	—	—
移行後期	♂	3.5 fc(gd)	100.0	3.6 fc 3.6 gd	6.3 25.0	3.5 gd 3.6 gd	11.1 33.3	—	—
	♀	3.55 gd 3.7 gdfc	20.0 20.0	3.6 gd 3.75 gd	18.2 9.1	3.6 gdfc 4.25 fc	20.0 20.0	—	—
青年期	♂	3.5 hd 4.0 gd	20.0 26.7	3.6 gd 4.0 gd	10.6 17.0	3.5 gd 3.6 gd	24.0 8.0	—	—
	♀	3.6 gdfc 3.75 gd	50.0 25.0	3.5 gd 3.75 gd	24.1 13.8	3.5 fc 3.5 gd	12.5 18.8	—	—
第一成熟期	♂	3.6 gd 3.75 gd	20.0 15.0	3.5 gd 3.6 gd	15.0 23.0	3.5 gd 3.5 hd	16.7 11.7	—	—
	♀	3.5 gd 3.75 fcgd	15.0 15.0	3.5 gd 3.7 fc	15.1 11.3	3.5 gd 3.7 fcgd	7.1 14.3	—	—

(ハ) 各人生期別による上腕内側の主調

人生期	主調 性別	病症		輕 症		中 等 症		重 症	
		主調	%	主 調	%	主 調	%	主 調	%
乳齒前期	♂	3.5 hd	100.0	—	—	3.5 fc	50.0	—	—
	♀	—	—	3.5 gd	50.0	—	—	—	—

乳齒後期	♂	3.5 fc 3.5 fcgd	14.3 14.3	3.45 fcgd 3.625 gd	16.7 16.7	— —	— —
	♀	3.5 fc 3.5fc(gcgd)	14.3 28.6	34.5 gd 3.5 fc	20.0 20.0	3.75 fc —	66.7 —
學齡前期	♂	3.5 fc 3.5 gdgc	11.5 11.5	3.5 fc 3.5 gd	18.2 9.1	3.75 gd —	50.0 —
	♀	3.5 fcgc 3.5(3.55)fc	15.8 10.5	3.5 fcgc 3.5 gd	15.4 25.0	3.5 fc —	25.0 —
學齡後期	♂	3.5 fcec 3.5 fcgc	9.4 21.9	3.5 fc 3.55 fcgc	7.7 7.7	3.5 gcfcgd —	50.0 —
	♀	3.5(3.52)fcgc 3.55 fcec	7.7 15.4	3.5 gd 3.55 fc	28.6 14.3	3.5(3.51)fcgc —	25.0 —
移行前期	♂	3.5 fc 3.55 fc(ec)	12.5 12.5	3.5 fcgc 3.5 gd	16.7 16.7	3.5 gd —	20.0 —
	♀	3.5 fc 3.55 gd	12.5 25.0	3.5(3.55)fc 3.6 fc	12.5 12.5	3.5 gd —	25.0 —
移行後期	♂	3.5 fcgd —	100.0 —	3.5 fcgd 3.5 gd	16.7 20.0	3.5 gd 3.5 gdfc	11.1 22.2
	♀	3.5 fcec 3.55 fcec	40.0 20.0	3.55 fc 3.55 fcec	18.2 18.2	3.55 gd 4.25 fcgd	13.3 20.0
青年期	♂	3.5 gd 3.5 hd	25.0 18.8	3.5 gd 4.0 gd	31.3 8.3	3.4 gd 3.5 gd	16.0 16.0
	♀	3.7 gdfc 4.0 fc	28.6 42.9	3.6 fc 3.6 gd	12.1 12.1	3.5 fc 3.75 fcgd	11.8 17.6
第一成熟期	♂	3.45 hd 3.5 gd	10.0 45.0	3.5 gd 3.6 gd	33.0 9.3	3.5 gd 3.5 gdfc	38.2 5.5
	♀	3.5 gd 3.6 gd	15.0 15.0	3.5 gd 3.6 fc	15.1 26.4	3.5 gd 3.5(3.6)fcgd	11.1 11.1

(二) 各人生期別による下唇(紅唇)の主調

人生期	病症 主調 性別	輕 症		中 等 症		重 症	
		主 調	%	主 調	%	主 調	%
		主 調	%	主 調	%	主 調	%
乳齒前期	♂	5.5 hdie	100.0	—	—	5.25 hdie	50.0
	♀	—	—	5.75 hdid	100.0	—	—
乳齒後期	♂	6.22 ieke	14.3	6.0 ieke	50.0	—	—
	♀	6.2 idke	16.7	6.2 keie 6.25 hdid	20.0 20.0	5.875 gchd	50.0
學齡前期	♂	6.15 idke 6.25 ieke	7.7 3.8	6.22 ieke 6.24 ieke	18.2 9.1	6.0 hdie 6.0 ke	25.0 25.0
	♀	6.19 idke 6.25 ieke	5.3 5.3	6.0 ke 6.22 idke	7.7 7.7	6.0 ke 6.22 idke	25.0 25.0

學齡後期	♂	6.18 idke 6.2 keid	9.4 9.4	6.18ke(kdie) 6.25 hdie	15.4 7.7	6.1 idke	50.0
	♀	6.2 idke 6.2 ieke	15.4 7.7	6.0 ke 6.3 idke	14.3 14.3	6.2 keid	50.0
移行前期	♂	6.19 idke 6.25 idke	12.5 12.5	6.18 idke 6.26 ieke	14.3 14.3	6.2 idke 6.24 ieke	20.0 20.0
	♀	6.2 ieke 6.25 ieke	14.3 14.3	6.0 idke 6.2(6.15)kfke	12.5 12.5	6.1(6.15)ke(id) 6.27 ieke	25.0 25.0
移行後期	♂	6.22 kekf	100.0	6.25 ieke 6.25 ieke	7.1 7.1	6.18 idke 6.25 ieke	11.1 22.2
	♀	6.245 ieke 6.26 ieke	20.0 20.0	6.22 ke(kf) 6.25 iekf	12.5 6.3	5.75 gchc 6.2 kfke	20.0 20.0
青年期	♂	5.75 iekf 6.5 ieke	12.0 12.0	6.25 iekf 6.5 iekf	14.7 6.3	6.2 ieke 6.3 ieke	7.4 7.4
	♀	5.875 iekf 6.0 ieke	16.7 16.7	6.0 iekf 6.25 iekf	9.3 22.0	6.15 kf 6.25 ieke	10.5 5.3
第一成熟期	♂	6.25 iekf 6.25 kf(lg)	5.1 7.7	6.25 iekf 6.3 kf(lg)	8.3 5.0	6.0 iekf 6.28 kflg	6.8 8.2
	♀	6.25 iekf 6.3 kf(ke)	13.04 8.7	6.2 kfke 6.25 iekf	5.1 5.1	6.1 iekf 6.25 ieke	6.9 6.9

第5表 (イ) 人生期別頬皮膚色調の平均基礎色

病 症 性 別		輕 症		中 等 症		重 症		健 常 人	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
乳 齒 前 期		4.25			4.50	4.25		4.19	4.21
乳 齒 後 期		4.06	4.24	4.31	4.22		4.88	3.96	4.18
學 齡 前 期		4.21	4.23	4.34	4.24	4.69	4.25	4.08	4.17
學 齡 後 期		4.03	4.15	4.12	4.38	3.65	4.20	4.19	4.30
移 行 前 期		4.16	4.38	4.17	4.35	3.93	4.38	4.36	4.32
移 行 後 期		4.10	4.52	4.40	4.41	4.27	4.39	4.20	4.41
青 年 期		4.36	4.55	4.34	4.50	4.17		4.05	4.26
第 一 成 熟 期		4.25	4.56	4.27	4.51	4.23	4.41	4.10	4.29

(ロ) 人生期別額皮膚色調の平均基礎色

病 症 性 別		輕 症		中 等 症		重 症		健 常 人	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
乳 齒 前 期		3.50			3.75	3.50		3.69	3.69
乳 齒 後 期		3.61	3.89	3.83	3.81		4.06	3.70	3.73
學 齡 前 期		3.85	3.87	3.81	3.93	4.19	4.00	3.75	3.79
學 齡 後 期		3.69	3.82	3.85	3.80	3.47	3.89	3.84	3.95
移 行 前 期		3.87	4.12	3.80	4.03	3.63	3.99	3.99	4.02
移 行 後 期		4.10	4.06	4.11	4.22	4.02	4.05	4.00	4.15
青 年 期		4.19	4.26	4.14	4.17	4.01	4.19	4.06	4.12
第 一 成 熟 期		4.10	4.27	4.14	4.24	4.05	4.15	4.06	4.12

(ハ) 人生期別胸部皮膚色調の平均基礎色

病 症 性 別 人 生 期		輕 症		中 等 症		重 症		健 常 人	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
乳 齒 前 期		3.50			3.50	3.50		3.54	3.60
乳 齒 後 期		3.50	3.55	3.68	3.62		3.81	3.55	3.55
學 齡 前 期		3.51	3.54	3.60	3.63	3.81	3.53	3.58	3.64
學 齡 後 期		3.52	3.53	3.57	3.57	3.50	3.55	3.61	3.67
移 行 前 期		3.60	3.60	3.60	3.65	3.45	3.58	3.67	3.70
移 行 後 期		3.50	3.55	3.60	3.60	3.58	3.64	3.58	3.74
青 年 期		3.75	3.78	3.71	3.88	3.52	3.64	3.70	3.73
第 一 成 熟 期		3.66	3.72	3.63	3.66	3.58	3.59	3.69	3.67

(ニ) 人生期別上腕内側皮膚色調の平均基礎色

病 症 性 別 人 生 期		輕 症		中 等 症		重 症		健 常 人	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
乳 齒 前 期		3.50			3.50	3.05		3.51	3.54
乳 齒 後 期		3.48	3.51	3.50	3.57		3.75	3.55	3.56
學 齡 前 期		3.49	3.51	3.65	3.51	3.81	3.51	3.53	3.54
學 齡 後 期		3.51	3.52	3.54	3.61	3.50	3.51	3.58	3.65
移 行 前 期		3.57	3.53	3.52	3.62	3.40	3.56	3.66	3.69
移 行 後 期		3.50	3.54	3.54	3.65	3.51	3.64	3.63	3.77
青 年 期		3.70	3.80	3.58	3.64	3.48	3.58	3.63	3.69
第 一 成 熟 期		3.53	3.67	3.55	3.62	3.49	3.56	3.57	3.67

(ホ) 人生期別下唇(紅唇)色調の平均基礎色

病 症 性 別 人 生 期		輕 症		中 等 症		重 症		健 常 人	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
乳 齒 前 期		5.50			5.75	5.56		6.25	6.27
乳 齒 後 期		6.20	6.27	6.19	6.16		5.94	6.12	6.18
學 齡 前 期		6.20	6.25	6.28	6.11	6.09	6.17	6.17	6.26
學 齡 後 期		6.20	6.20	6.20	5.99	6.14	6.21	6.31	6.36
移 行 前 期		6.21	6.23	6.13	6.19	6.19	6.20	6.35	6.38
移 行 後 期		6.22	6.25	6.31	6.20	6.24	6.09	6.44	6.43
青 年 期		6.23	6.21	6.25	6.20	6.22	6.08	6.35	6.32
第 一 成 熟 期		6.11	6.24	6.18	6.20	6.17	6.17	6.33	6.39

の動搖が少ないが、中等症・重症では變化が著しく、平均基礎色の年齢に伴う推移は健常者とは同様に成長するにつれ上昇している。

病症別にみると輕症は健常者よりも平均基礎

色がやや高く推移しているが、中等症で最も高く、重症で最も低くなっている。

男女別では各病症とも女が男よりも高くなっている。なお成長期の結核患者の平均基礎色が

各期とも起伏が著しいのが目立ち、青年期・第一成熟期となるにつれて健常者とある程度の相違を示すも次第にその動搖も少なくなり固定してくる。頬以外の身體各部の平均基礎色をみるに、各部ともほぼ同様の推移をとるが、額はやや健常者と著しく相違するが、胸骨部・上腕内側・下唇に於ては頬・額ほど推移が著明でない。

第 5 節 色調の分析各含有量

第 1 項 純色含有量

純色含有量を各基礎色別に求め、頬部につきこれを圖示すると第 2 圖の如くなる。すなわち成長期結核患者の純色含有量は成長するにしたがい次第に減するが、これはほぼ健常者に於ける推移と同様である。

また男女間では女が男よりも純色含有量大である。

これを病症別に最も出現率の多い基礎色 3.75, 4.0, 4.25, 4.5, についてみると次の如くである。すなわち男では (基礎色) 3.75: 青年期輕症 27.6%・中等症 25.0%・重症 23.7% (基礎色) 4.0: 移行前期輕症 28.3%・中等症 30.3%・重症 25.1%・青年期輕症 26.2%・中等症 25.4%・重症 25.0%・第一成熟期輕症 24.5%・中等症 24.7%・重症 23.8% (基礎色) 4.25: 學齡前期中等症 30.8%・重症 23.0%・移行前期輕症 31.2%・中等症 29.2%・重症 34.0%・移行後期中等症 28.6%・重症 24.2%・青年期輕症 26.0%・中等症 25.5%・重症 25.3%・第一成熟期 26.0%・輕症・中等症 24.3%・重症

25.7% (基礎色) 4.5: 青年期輕症 26.0%・中等症 25.5%・重症 25.3% となつてゐる。

女では (基礎色) 3.75: 青年期中等症 23.0%・重症 23.7% (基礎色) 4.0: 乳齒後期輕症 28.5%・中等症 27.0%・學齡前期輕症 28.5%・中等症 30.0%・重症 28.5%・學齡後期輕症 28.0%・中等症 28.7%・重症 25.6%・移行前期輕症 28.2%・中等症 25.9% (基礎色) 4.25: 學齡後期輕症 26.3%・中等症 26.1%・重症 30.3%・移行後期輕症 25.4%・中等症 26.2%・重症 24.9%・青年期輕症 26.5%・中等症 26.4%・重症 26.3%・第一成熟期輕症 24.9%・中等症 24.0%・重症 23.8% (基礎色) 4.5: 移行後期輕症 30.8%・中等症 23.0%・重症 23.7%・青年期輕症 27.0%・中等症 26.5%・重症 26.4% となつてゐる。

以上よりして純色含有量は、各人生期を通じて男女ともに病症別に相當の動搖があつて、輕症より中等症へと増加する場合もみられるが、概ね病症が進むにつれて次第に減量してゆくことが分る。女の方が男よりも概ね大きく、また年齢と共に減少するのは健常者と同様である。

第 2 項 白含有量

白含有量を各基礎色別に求め、頬部につきこれを圖示すると第 2 圖の如くである。すなわち成長するにつれ激しい動搖を示しつつ、次第に減少し移行期・青年期に著明に増大する點は健常者とは同様である。また男女間では女が男よりも含有量大である。これを病症別にまとめて前述の如く各基礎色ごとにみると次の如くである。すなわち男では (基礎色) 3.75: 青年期輕症 20.9%・中等症 20.0%・重症 21.3%・第一成熟期輕症 18.9%・中等症 19.3%・重症 22.6% (基礎色) 4.0: 移行前期輕症 20.9%・中等症 19.9%・重症 20.9%・移行後期輕症 22.0%・中等症 22.0%・重症 20.9%・青年期輕症 17.3%・中等症 20.0%・重症 21.2%・第一成熟期輕症 19.5%・中等症 20.5%・重症 21.9% (基礎色) 4.25: 學齡前期輕症 23.5%・中等症 22.4%・重症 22.0%・移行前期輕症 24.8%・中等症 23.9%・重症 22.0%・青年期

輕症 19.0%・中等症 21.3%・重症 20.9 (基礎色) 4.5: 學齡前期輕症 20.8%・中等症 22.9%・青年期輕症 23.5%・中等症 23.0%・重症 21.6%・第一成熟期輕症 22.0%・中等症 20.6%・重症 18.2% である。

また女では (基礎色) 3.75: 青年期中等症 22.0%・重症 31.7% (基礎色) 4.0: 學齡前期輕症 24.6%・中等症 21.7%・重症 21.7%・學齡後期輕症 22.1%・中等症 18.9%・重症 22.0%・移行後期輕症 22.1%・中等症 22.2%・重症 23.9%・青年期中等症 22.9%・重症 27.1%・第一成熟期輕症 22.0%・中等症 20.2%・重症 20.0% (基礎色) 4.25: 學齡前期輕症 22.6%・中等症 29.2%・重症 24.8%・移行前期輕症 20.5%・中等症 22.2%・重症 19.5%・移行後期輕症 24.8%・中等症 25.9%・重症 22.1%・青年期輕症 20.3%・中等症 24.8%・重症 21.5%・第一成熟期輕症 22.8%・中等症 23.2%・重症 23% (基礎色) 4.5: 學齡前期輕症 19.9%・中等症 22.0%・重症 22.0%・移行後期輕症 22.4%・中等症 22.0%・重症 18.9%・青年期輕症 18.0%・中等症 22.3%・重症 22.7%・第一成熟期輕症 24.0%・中等症 23.2%・重症 20.2% となつてゐる。

以上よりして白含有量は、成長期各期を通じて男女ともに病症別に相當の動搖があつて、輕症より中等症へと減少する場合もみられるが、概ね病症の進むにつれて次第に増量する。女の方が男よりも大きく、年齢と共に次第に減少し、移行期・青年期に増量するのは健常者と同じである。一般に成人結核の場合と異り輕症及び中等症の間では著しい傾向がみられない。

第 3 項 黒含有量

黒含有量を各基礎色別に求め、頬部につきこれを第 2 圖に示す。すなわち成長するにつれ起伏を示しつつ、次第に増してゆき、男女間では女が男よりも含有量の小さな點は健常者の場合と同様である。これを病症別にしかも最も出現率の多い基礎色 3.75, 4.0, 4.25, 4.5 についてみると次の如くである。男では (基礎色) 3.75: 青年期輕症 51.5%・中等症 55.0%・重症 55.0

%, 第一成熟期輕症 57.4%・中等症 55.7%・重症 52.8% (基礎色) 4.0: 學齡前期輕症 51.1%・中等症 52.9%, 移行前期輕症 50.7%・中等症 49.8%・重症 52.4%, 移行後期輕症 55.0%・中等症 55.0%・重症 55.0%, 青年期輕症 56.6%・中等症 54.6%・重症 53.7% (基礎色) 4.25: 學齡前期輕症 49.6%・中等症 46.9%・重症 55.0%, 移行前期輕症 44.0%・中等症 49.8%・重症 44.0%, 青年期輕症 55.0%・中等症 53.2%・重症 53.8%, 第一成熟期輕症 54.0%・中等症 53.9%・重症 53.3% (基礎色) 4.5: 學齡前期輕症 50.7%・中等症 49.7%, 青年期輕症 50.6%・中等症 51.7%・重症 53.3%, 第一成熟期輕症 51.6%・中等症 54.5%・重症 55.0% であり,

女では (基礎色) 3.75: 青年期中等症 55.0%・重症 44.0% (基礎色) 4.0: 學齡前期輕症 46.8%・中等症 48.4%・重症 49.8%, 學齡後期輕症 50.8%・中等症 49.6%・重症 52.4%, 移行後期輕症 55.0%・中等症 51.5%・重症 46.9%, 青年期中等症 53.3%・重症 47.9%, 第一成熟期輕症 55.0%・中等症 54.0%・重症 55.0% (基礎色) 4.25: 學齡前期輕症 44.9%・中等症 44.0%・重症 49.8%, 學齡後期輕症 50.7%・中等症 44.0%・重症 49.8%, 移行前期輕症 54.1%・中等症 52.3%・重症 52.3%, 移行後期輕症 49.8%・中等症 47.8%・重症 52.9%, 青年期輕症 53.3%・中等症 48.8%・重症 52.3%, 第一成熟期輕症 52.3%・中等症 52.7%・重症 53.2% (基礎色) 4.5: 學齡前期輕症 49.8%・中等症 49.6%・重症 44.0%, 移行後期輕症 46.9%・中等症 55.0%・重症 57.4%, 青年期輕症 55.0%・中等症 51.2%・重症 51.0%, 第一成熟期輕症 50.3%・中等症 51.5%・重症 53.7% となつている。

以上よりして黒含有量は、成長期各期を通じて男女とも病症別に相當した移動があり、輕症より中等症へと増量する場合もあるが、概ね病症の進むにつれ次第に減少する。男の方が女よりも大で、年齢と共に増量する點は健常者と同様である。しかし成人結核症の場合と異り、輕

症・中等症の間には著しい傾向がみられない。

第 IV 章 綜括並びに結論

著者は金子皮膚比色計を用いて本邦人成長期結核患者男女合計 822 名の頬・額・胸骨部・上腕内側・下唇 (紅唇) の 5 カ所皮膚色調を計測し、次の結論を得た。すなわち

1. 各部位の性別・年齢別人生期別皮膚色調の主調並びにその出現範囲 (各項参照)

2. 成長期の皮膚色調の變化の著しいことはさきに著者の報告したところであるが、成長期の結核患者の皮膚色調もいわゆる成人結核の場合と異つた傾向を示し複雑であつて、この傾向が成長期の變化をしてより大きく複雑にしている。

3. 中等症・重症の概して重い結核に於てはいわゆる成人結核の場合とは同様の傾向を示すが、輕症結核は變化が多く、著しい傾向がない。すなわち成長期の結核は輕症に於て特に異つた傾向を示し、成熟期に近づくにつれ動搖が少なくなり、いわゆる成人結核の傾向に次第に固定してゆく。

4. 身體部位 5 カ所の成績に於て認められる傾向は、成長期結核に於ては、頬に於て最も健常者と著しい相違を示し、次で額であり、胸骨部・上腕内側・下唇に於ては前者ほど著明な相違を示さない。

5. 色調の出現状態は成長期各期を通じて輕症よりも中等症に廣範囲の色調が出現し、また中等症から重症となると色調の出現範囲は減じてくる。

6. いわゆる頬部紅潮は中等症に最も廣く次で輕症更に重症に最も狭く見られる。男女間では女にあつてより廣く見られ、この傾向は各人生期を通じ共通である。

7. 基礎色は成人結核に比して成長期結核患者の基礎色はその出現する巾が廣く、病症別にみると輕症は餘り著しくないが、中等症にやゝ廣く高くなり、重症になるにつれ狭く低くなる。女が男よりも概ね基礎色高く巾が廣い。

8. 主色調・身體各部の主色調を第 1~4 表に示したが、輕症者の主調は男女ともほぼ健常

者に類似し中等症重症と次第に相違を示している。

9. 平均基礎色 人生期別にみると成長するにつれ上昇するのは健常者と同様なも病症別にみると、軽症はその動搖が少く、中等症重症と變化が著しく、また軽症は健常者よりも平均基礎色がやゝ高く、中等症は最も高く重症が低い。男女間では女が男よりも各病症とも高くなっている。

10. 純色含有量は各成長期を通じ男女とも病症別に相當の異動があり、軽症より中等症へと増加する場合もあるが、概ね病症が進むにつれ次第に減量する。

11. 白含有量は各成長期を通じ男女とも病症別に異動があり、軽症より中等症へと減少する場合もあるが、概ね病症の進むにつれ次第に増量する。

12. 黒含有量は軽症より中等症へと増量する場合もあるが、概ね病症の進むにつれ次第に減少する。

擱筆するに臨み恩師金子教授の御懇篤なる御指導と御校閥の勞を深謝し、かつ本研究に御協力を賜つた各療養所各位の御厚情に對し厚くお禮申上げる。

なお本研究は一部文部省科學研究費に負うところあり。記して謝意を表する。

主 要 文 献

- (1) 兼重孜：日本人口唇色彩の研究。解剖學雜誌 第4卷(昭和6年8月)
- (2) 金子丑之助：邦人顔面皮膚色調に就て。解剖學雜誌 第8卷(昭和10年7月)
- (3) 金子丑之助：海水浴による皮膚色調遷移(日焼)に於て。日本醫科大學雜誌 第6卷(昭和10年)
- (4) 森於菟・金子丑之助：本邦人青・成年期に於ける身體各部外皮(皮膚)色調。日本醫科大學雜誌 第6卷
- (5) 森於菟・金子丑之助：人體皮膚色調測定に就て。解剖學雜誌 第8卷
- (6) 大澤章通：癩患者の皮膚色調。日本醫科大學雜誌 第18卷第2號
- (7) 大島信道：内臓色。日本醫科大學雜誌 第18卷第3號
- (8) 大澤章通：本邦人上肢の皮膚色調。日本醫科大學雜誌 第18卷第3號
- (9) 杉山四郎：本邦人少・青年期に於ける頭部形態並に顔面色調に就て。日本醫科大學雜誌 第18卷第3號
- (10) 糸永喬：肺結核患者の皮膚色調。日本醫科大學雜誌 第18卷第5號
- (11) 鈴木潔：成長期に於ける本邦人皮膚色調。日本醫科大學雜誌第18卷第12號

その他